

2026年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330341086	保育実践演習 Practical Exercise of Childcare	伊藤久美子・古田年寿			2	選択	4前期

**科目の概要**

DP①、②に記載している現代のこどもの生活問題に対する認識と現実の保育および教育現場での課題に対する見識を深め、専門的な知識と技能を身に付け、現代の子育て問題や教育再生、地域再生に取り組むことができ、自立した社会人として、常に自己研鑽に取り組み、自らの可能性を高めて社会に貢献しようとする姿勢を持つ保育者の育成を目指します。(DP⑤)  
 また、こどもの生活資料のDP「人々の日常生活を子育ての面から支援することができる人材育成」を受け、幼稚園教諭(伊藤)、中学校教諭(古田)として保育・教育現場で働いた経験を活かし、保育における具体的な場面指導や子ども理解に関する講義・演習を行います。  
 特にこの科目では、現代のこどもの生活問題に対する認識と現実の保育および教育現場での課題に対する見識を深め、専門的な知識と技能を身に付け、現代の子育て問題や教育再生、地域再生に取り組むために、保育士資格に関する科目の全体を通して、保育士として必要な保育に関する専門的知識及び技術、幅広く深い教養及び総合的な判断力、専門職としての倫理観等を習得、形成し、自らの学びを振り返り把握します。また、既修の保育実習等を通じた自らの体験や収集した情報に基づき、保育に関する現代的課題についての現状を分析し、その課題への対応として保育士、保育の現場、地域、社会に求められることは何か、多様な視点から考察します。それらを踏まえ、保育士としての自己の課題を明確化し、保育の実践に際して必要となる基礎的な資質・能力を身に着けます(DP⑥)。

学修内容	到達目標
① 保育に関する専門職としての知識、教養、技術、判断力、倫理観等が習得、形成されたか、自らの学びを振り返り把握する。 ② 保育実習等を通じた自らの体験や収集した情報に基づき、課題についての現状を分析し、保育士、保育の現場、地域、社会に求められることを多様な視点から考察する。 ③ ①及び②を踏まえ、自己の課題を明確化し、保育の実践に際して必要となる基礎的な資質・能力を身に着ける。	① 保育に関する専門職としての知識、教養、技術、判断力、倫理観等が習得、形成されたか、自らの学びを振り返り把握することができる。 ② 保育実習等を通じた自らの体験や収集した情報に基づき、課題についての現状を分析し、保育士、保育の現場、地域、社会に求められることを多様な視点から考察することができる。 ③ ①及び②を踏まえ、自己の課題を明確化し、保育の実践に際して必要となる基礎的な資質・能力を身に着けることができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
---------------------	---------------------------

前に踏み出す力	主体性	予習課題・発表準備における該当課題について自発的に取り組むことができる。
	働きかけ力	
	実行力	困難があっても、粘り強く、強い意志をもって最後までやり切ることができる。
考え抜く力	課題発見力	事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を明確にすることができる。
	計画力	
	創造力	課題に対して固定概念にとらわれることなく、既習内容などから総合的に考えることができる。
チームで働く力	発信力	具体例を用いて相手に分かるように説明したり、自分が話そうとすることを十分に整理して話す、発表することができる。
	傾聴力	相槌や共感等を示すことで相手の意見を引き出すコミュニケーションができ、自分に対する意見においても素直に聞き、受け止めることができる。
	柔軟性	
	情況把握力	
	規律性	授業ルール(学修態度、課題の期日を守った提出等)の必要性、重要性を理解し、遵守することができる。
	ストレスコントロール力	

**テキスト及び参考文献**

参考文献：①寺田恭子・榊原志保・高橋一夫(2017) 保育・教職実践演習 -わたしを見つめ、求められる保育者になるために- ミネルヴァ書房  
 ②「これだけは知っておきたい わかる・書ける・使える 保育の基本用語」わかば社  
 ③幼稚園・保育所・認定こども園実習 パーフェクトガイド」わかば社  
 ④「保育所保育指針解説」、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」

**他科目との関連、資格との関連**

保育実践演習(330341086)は学科専門科目の実習領域及び幼・保領域に位置付けられ、実習領域、幼・保領域に関する科目で修得した知識、実践力を基とし、卒業研究(330743148)の基礎となる科目である。  
 また保育実践演習は、保育士資格必修科目である。

学修上の助言	受講生とのルール
<ul style="list-style-type: none"> <li>予習・復習学習を行い、積極的に講義に参加すること。</li> <li>知識や技術の修得を目的にすることなく、自分が目指す保育者としての将来像をもって授業に参加すること。</li> <li>園での保育実践は様々な状況によって実施できない場合もある。その場合は、学内で振替え対応をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育者を目指す学生として相応しい服装、態度、言葉遣いで授業に参加すること。</li> <li>課題等は期限を守って提出すること。</li> <li>無断欠席をしないこと。</li> </ul>

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験 筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①			
			②			
			③			
	小テスト	0	①			
			②			
			③			
	レポート	40	①	✓		①保育者として向き合っていく現実的課題に関する発表の学びレポート。 ②保育と環境の現実的課題に関する発表の学びレポート。 ③子育て支援に関する調査に基づく発表の学びレポート。 ④子育て支援の場での親子で楽しめる保育実践の学びレポート。
			②	✓		
③			✓			
				・pisa型学力の評価方法について 知識の獲得（心理学的概念の理解・用語の理解）：30% 知識の活用（心理学的概念を用いた事例の活用の試み）：40% 知識の解決（心理学的概念を用いた事例の具体的な提案）：30%		
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	50	①	✓	①保育者として向き合っていく現実的課題に関するテーマに即した発表。 ②保育と環境の現実的課題に関するテーマに即した発表。 ③子育て支援に関する調査に基づく発表。 ④子育て支援の場での親子で楽しめる保育実践。		
		②	✓			
		③	✓			
				・pisa型学力の評価方法について 知識の獲得（心理学的概念の理解・用語の理解）：30% 知識の活用（心理学的概念を用いた事例の活用の試み）：40% 知識の解決（心理学的概念を用いた事例の具体的な提案）：30%		
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	（主体性） 予習課題・発表準備における該当課題について積極的に取り組むことができる。 （実行力） 困難があっても、粘り強く、強い意志をもって最後までやり切ることができる。 （課題発見力） 事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を明確にすることができる。 （創造力） 課題に対して固定概念にとらわれることなく、既習内容などから総合的に考えることができる。 （発信力） 具体例を用いて相手に分かるように説明したり、自分が話そうとすることを十分に整理して話す、発表することができる。 （傾聴力） 相槌や共感等を示すことで相手の意見を引き出すコミュニケーションができ、自分に対する意見においても素直に聞き、受け止めることができる。 （規律性） 授業ルール（学修態度、課題の期日を守った提出等）の必要性、重要性を理解し、遵守することができる。	
			②	✓		
			③	✓		
総合評価割合		100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>S(秀)</p> <p>①保育士資格に関する科目の全体を通して、保育士として必要な保育に関する専門的知識及び技術、幅広く深い教養及び総合的な判断力、専門職としての倫理観等が習得、形成され、自らの学びの振り返りについて十分に把握でき、自分の言葉で相手に分かりやすく説明できる。</p> <p>②保育実習等を通じた自らの体験や収集した情報に基づき、保育に関する現代的課題についての現状を分析し、その課題への対応として保育士、保育の現場、地域、社会に求められることは何か、多様な視点から十分に考察でき、自分の言葉で相手に分かりやすく説明できる。</p> <p>③①及び②を踏まえ、保育士としての自己の課題を明確化し、保育の実践に際して必要となる基礎的な資質・能力について十分に理解でき、自分の言葉で相手に分かりやすく説明できる。</p> <p>A(優)</p> <p>①保育士資格に関する科目の全体を通して、保育士として必要な保育に関する専門的知識及び技術、幅広く深い教養及び総合的な判断力、専門職としての倫理観等が習得、形成され、自らの学びの振り返りについて十分に把握でき、相手に分かりやすく説明できる。</p> <p>②保育実習等を通じた自らの体験や収集した情報に基づき、保育に関する現代的課題についての現状を分析し、その課題への対応として保育士、保育の現場、地域、社会に求められることは何か、多様な視点について十分に考察でき、相手に分かりやすく説明できる。</p> <p>③①及び②を踏まえ、保育士としての自己の課題を明確化し、保育の実践に際して必要となる基礎的な資質・能力について十分に理解でき、相手に分かりやすく説明できる。</p>	<p>B(良)</p> <p>①保育士資格に関する科目の全体を通して、保育士として必要な保育に関する専門的知識及び技術、幅広く深い教養及び総合的な判断力、専門職としての倫理観等が習得、形成され、自らの学びの振り返りについて十分に把握でき、相手に説明できる。</p> <p>②保育実習等を通じた自らの体験や収集した情報に基づき、保育に関する現代的課題についての現状を分析し、その課題への対応として保育士、保育の現場、地域、社会に求められることは何か、多様な視点について十分に考察でき、相手に説明できる。</p> <p>③①及び②を踏まえ、保育士としての自己の課題を明確化し、保育の実践に際して必要となる基礎的な資質・能力について十分に理解でき、相手に説明できる。</p> <p>C(可)</p> <p>①保育士資格に関する科目の全体を通して、保育士として必要な保育に関する専門的知識及び技術、幅広く深い教養及び総合的な判断力、専門職としての倫理観等が習得、形成され、自らの学びの振り返りについて十分に把握でき、テキスト等を使い説明できる。</p> <p>②保育実習等を通じた自らの体験や収集した情報に基づき、保育に関する現代的課題についての現状を分析し、その課題への対応として保育士、保育の現場、地域、社会に求められることは何か、多様な視点について十分に考察でき、テキスト等を使い説明できる。</p> <p>③①及び②を踏まえ、保育士としての自己の課題を明確化し、保育の実践に際して必要となる基礎的な資質・能力について理解でき、テキスト等を使い説明できる。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	「オリエンテーション」：伊藤・古田 ・保育実習Ⅱの振り返り ・授業目的や授業の取り組み方について説明	講義 グループワーク 発表 google classroomにてフィードバック	授業の目的を理解している 授業方法や授業の進め方を理解している 今後の方針について把握している。	予習：シラバスを読んでくる。 復習：分からなかった所をもう一度確認する	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	<子どもと楽しむおもちゃづくり①> (古田)	作品制作	耐久性があり、おもちゃとして楽しむことができる作品に仕上がっている (作品、小レポートの提出)	予習：作品制作に必要な材料、用具、道具の準備をする。 復習：作品、小レポートを完成させ、次週提出する。	120	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 柔軟性 規律性
3	<子どもと楽しむおもちゃづくり②> (古田)	作品制作	耐久性があり、おもちゃとして楽しむことができる作品に仕上がっている。 (作品、小レポートの提出)	予習：作品制作に必要な材料、用具、道具の準備をする。 復習：作品、小レポートを完成させ、次週提出する。	120	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 柔軟性 規律性
4	<子どもと楽しむおもちゃづくり③> (古田)	作品制作	耐久性があり、おもちゃとして楽しむことができる作品に仕上がっている。 (作品、小レポートの提出)	予習：作品制作に必要な材料、用具、道具の準備をする。 復習：作品、小レポートを完成させ、次週提出する。	120	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 柔軟性 規律性
5	<子どもと楽しむおもちゃづくり④> (古田)	作品制作	耐久性があり、おもちゃとして楽しむことができる作品に仕上がっている。 (作品、小レポートの提出)	予習：作品制作に必要な材料、用具、道具の準備をする。 復習：作品、小レポートを完成させ、次週提出する。	120	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 柔軟性 規律性
6	<子どもと楽しむ色あそび①> (古田) 既存の色あそびをベースに、新発想の色あそびを考案する。	演習 ディスカッション グループワーク 小レポートの提出	グループディスカッションで自分なりの考えを提示できる。 (小レポートの提出)	予習：既存の色あそびをリサーチしてくる。 復習：小レポートを完成させ、提出する。	120	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 柔軟性 規律性
7	<子どもと楽しむ色あそび②> (古田) 既存の色あそびをベースに、新発想の色あそびを考案する。	演習 ディスカッション グループワーク 小レポートの提出	グループディスカッションで自分なりの考えを提示できる。 (小レポートの提出)	予習：既存の色あそびをリサーチしてくる。 復習：小レポートを完成させ、提出する。	120	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 柔軟性 規律性
8	<子どもと楽しむ色あそび③> (古田) 既存の色あそびをベースに、新発想の色あそびを考案する。	演習 ディスカッション グループワーク レポートの提出	グループディスカッションで自分なりの考えを提示できる。 (小レポートの提出)	予習：既存の色あそびをリサーチしてくる。 復習：小レポートを完成させ、提出する。	120	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 柔軟性 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	めざす保育者像と自己課題①：伊藤 これまでの学びを振り返り、自らが目指す保育者像と自己課題を明確にする。	演習 グループワーク	これまでの学びを振り返り、自らが目指す保育者像と自己課題がわかる。	予習：保育実習Ⅰ・Ⅱの日誌を読み返す。 復習：今日の学びをノートにまとめる。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	めざす保育者像と自己課題②：伊藤 めざす保育者像と自己課題についての発表	演習 グループワーク google classroomにて課題、フィードバック	めざす保育者像と自己課題についての発表ができる。	予習：自己課題に関する発表準備をする。 復習：今日の学びをノートにまとめる。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	子育て支援と保育の課題①：伊藤 身近な園の子育て支援の実態について調べ、保育者として求められる具体的な資質・能力を考察する。	演習 グループワーク notebookLM	身近な園の子育て支援の実態について調べ、保育者として求められる資質・能力を考察できる。	予習：地域の子育て支援センターについて調べる。 復習：今日の学びをノートにまとめる。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	子育て支援と保育の課題②：伊藤 身近な園の子育て支援の場で行う、保育実践を準備する。	演習 グループワーク ディスカッション	身近な園の子育て支援の場で行う、保育実践を準備することができる。	予習：親子で楽しめる保育実践を調べてくる。 復習：今日の学びをノートにまとめる。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	子育て支援と保育の課題③：伊藤 身近な園の子育て支援の場で親子で楽しめる保育実践をする。	演習 グループワーク 保育実践発表	身近な園の子育て支援の場で親子で楽しめる保育実践ができる。	予習：保育実践を練習してくる。 復習：今日の学びをノートにまとめる。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	子育て支援と保育の課題④：伊藤 身近な園の子育て支援の場で親子で楽しめる保育実践をする。	演習 グループワーク 保育実践発表	身近な園の子育て支援の場で親子で楽しめる保育実践ができる。	予習：保育実践を練習してくる。 復習：今日の学びをノートにまとめる。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	子育て支援と保育の課題⑤：伊藤 身近な園の子育て支援の場で親子で楽しめる保育実践を振り返る	演習 google classroomにて課題、フィードバック	身近な園の子育て支援の場で親子で楽しめる保育実践を振り返ることができる。	予習：保育実践の反省をまとめておく。 復習：今日の学びをノートにまとめる。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力